

テレワーク導入コンサルティング（株式会社テレワークマネジメント）

- ・テレワーク導入コンサルティングによる多様な働き方の実現支援
- ・テレワーク用システムの開発・販売

◆事業・プログラムの内容

テレワーク導入コンサルティング・ テレワーク用システムの開発・販売

生産性向上のためのテレワーク導入を目指すコンサルティングを行っている。①テレワークの運用ルールの整備、②社内制度の整備、③IT環境の整備、④管理者・社員への教育の4点について同時に取り組むことで、「制度を導入したけれど利用者がいない」、「ツールはあるけれどテレワークはできない」、「テレワークでできる仕事や利用者が広がらない」などに陥らないような工夫をしている。

テレワークの効率的運営に加え、生産性向上など企業全体のメリットにもつながる、テレワーク用のソフトウェアやシステムの開発・販売を行っており、遠隔管理を可能とする在席管理システム「Fチェア ver.2.0(F-chair)」や、仮想オフィスコミュニケーションツール「Sococo Virtual Office」がある。

テレワークの普及活動と講演・研修等の実施

2008年の会社創立時より、セミナーやブログ、Facebook等によるテレワークに関する最新情報の発信や啓蒙活動を継続的に行うほか、多様な人材の確保をはじめとする、テレワークの様々なメリットを、企業経営者だけでなく国や自治体等、幅広い層を対象に伝えるため、事業としての講演会や研修会等を請け負っている。

◆企業データ

会社設立年	2008年	資本金	3百万円
本社所在地	北海道北見市高栄西町4丁目7番13号		
事業概要	テレワーク（在宅勤務）導入コンサルティング		
売上高	83百万円（2012年7月決算）		
従業員数	7名		

◆実績

テレワーク導入コンサルティングと テレワーク用システムの販売実績

総務省「テレワーク全国展開プロジェクト」（2012年）では、4社にコンサルティングを実施した。また、福岡県「在宅勤務（テレワーク）制度普及・啓発事業」（2012年）でも15社のコンサルティングを実施して、障がい者雇用や、介護退職社員の雇用継続を支援した。2011年には、被災地支援のため、無料コンサルティングを1社に実施した。

「Fチェア ver.2.0(F-chair)」は2012年4月発売で、現在までに10社に販売し、669名に利用されている。また、「Sococo Virtual Office」は2013年4月発売で、現在までに2社に販売し、61名に利用されている。

テレワークの普及活動と講演・研修等の実績

厚生労働省「テレワーク・セミナー」（2011年）では、全国7か所で、テレワークの労務管理に関するセミナーを企画・開催し、632名が参加した。また、自社開催のテレワーク・ミニセミナーを38回開催、インターネット上でライブ配信し、全国各地から参加者が集う参加型のセミナーとしている。のべ参加者数は約1,940名、うちライブ配信視聴者数が約1,130名となっている。他にも、他社・団体等からの依頼による講演・研修会も昨年1年間で17回開催した。

また、同社社長のテレワークブログの1か月のページビューは約3,800、Facebookフォロワー数は2013年9月9日現在、8,684名となっている。

在席管理システム「Fチェア ver.2.0(F-chair)」(左)と仮想オフィスコミュニケーションツール「Sococo Virtual Office」(中、右)

